

1. 科目名 (単位数)	音楽 (小) (2 単位)	3. 科目番号	GELA1325
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		
4. 授業形態	演習 (個人、全員、グループ)	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	小学校教育において必要とされる音楽の基本的な演奏技能と知識を習得し、創造的な音楽教育を実践する能力の育成を目指す。実際には小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくり (言葉、動き、音を媒体として) を学ぶ。特にアンサンブルはグループ・ディスカッションを重視した活動となる。		
8. 学習目標	1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や打楽器やリコーダーによるアンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 音楽の基礎理論 (楽典) の理解ができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	① ピアノ実技: レベル毎に課題曲を提示するので、練習をし、次回対面授業までに弾けるようにすること。 ② 音楽理論: ほぼ毎回単元別の練習問題を提示するので、疑問点や質問事項があれば必ず聞くこと。 ③ 中間のまとめ、期末のまとめを行う。 ④ 歌唱教材: 1曲でも多くのレパートリーを持てるよう、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨むこと。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ① 全音楽譜出版部編『標準バイエル教則本』全音楽譜出版社 ② 阪井恵、有本真紀他著『新版教員養成課程小学校音楽科教育法 2022 年改訂版』教育芸術社 【参考書】川辺 真著『わかりやすい楽典』音楽之友社		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の 40% 2. 実技発表 総合点の 40% 3. 音楽理論の理解 総合点の 20%		
12. 受講生へのメッセージ	オンラインの場合の練習方法について、紙鍵盤・鍵盤ハーモニカ・電子ピアノ・ピアノその他 (鍵盤がある楽器) があればアドバイス可能です。「ピアノが弾けるようになる」ことは技術の習得です。したがって、日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じて取り組み、出来る喜びを分かち合しましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。熱心に取り組まれることを期待しています! 弾き歌いでは、小学校共通教材の中より個々の技量にあった、より多くの曲に触れてほしいと思います。		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	鍵盤で「ド」の位置を理解しておくこと。
		事後学習	各自の目標 (初級: 音符と鍵盤の一体化、中級: 楽譜に忠実に、上級: 表現力のある演奏を目指して) を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第 2 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論① (音部記号・楽譜について)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音部記号・楽譜について) に取り組み、活用できる。
第 3 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論② (音名・変位記号)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音名・変位記号) に取り組み、音楽の働きと関わらせて理解する。
第 4 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論③ (音符と休符)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音符と休符) に取り組み、音楽の働きと関わらせて活用できるよ

			うにする。
第5回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論④（拍子とリズム）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（拍子とリズム）に取り組み、音楽の働きと関わらせて活用できるようにする。
第6回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑤（強弱記号、簡単な楽語）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（強弱記号、簡単な楽語）に取り組み、音楽の働きと関わらせて活用できるようにする。
第7回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑥（反復記号、装飾音符） 音楽づくり①（音楽づくり導入）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	中間のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
第8回	中間のまとめ（音楽理論に関する筆記試験） 音楽づくり②（マイリズムを作る）	事前学習	中間のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
		事後学習	リズムについて、整理し、活用できるようにする。
第9回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽づくり③（手作り楽器を作る）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。手作り楽器の材料を準備する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第10回	ピアノ弾き歌いレッスン グループアンサンブル①（合奏練習）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 グループアンサンブルの個人練習をする。
第11回	ピアノ弾き歌いレッスン グループアンサンブル②（合奏発表）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 グループアンサンブルの個人練習をする。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第12回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑦（長音階）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（長音階）に取り組み、音楽の働きと関わらせて活用できるようにする。
第13回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑧（短音階）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	音楽理論の応用、自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（短音階）に取り組み、音楽の働きと関わらせて活用できるようにする。
第14回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑨（簡単なコードネーム）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	期末のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
第15回	期末のまとめ（音楽理論に関する筆記試験）	事前学習	期末のまとめに向けた音楽理論の学習を復習する。
		事後学習	これまでに学習した音楽理論について復習をし、音楽の働きと関わらせて活用できるようにする。